

首都圏から秋田材情報発信

森と木の国あきた展

秋田県が新宿で

秋田県は23、24日の10日間、東京都新宿区の新宿パークタワーで「森と木の国あきた展」を開いた。



秋田材をPRする佐竹知事

10日は佐竹敬久秋田県知事がトップセールスを行い、首都圏のマンション建設・販売業者、建築デザイナーなど関係者が参加した。これは、展示会を首都圏で開き、広く秋田材の情報発信を図るとともに、期間中は商談会を開くなど、新たな市場開拓に向けた取り組み

ようとする今こそ、真の連携の実現に向けて行動宣言に調印したことの意義は大きい。これを契機に全木連と手を携え、発展するよう頑張っていきたい」とそれぞれ決意を語った。

を行うのが目的。

佐竹知事は「世界に日本食が広まった影響で秋田の伝統工芸品である、曲げわっぱがパリを中心にヨーロッパで人気が出始め、現在品切れ状態。秋田は秋田美人、美酒、秋田杉と美しいものが多い県として有名なので、曲げわっぱをきっかけに秋田に観光に来てほしい。今後は首都圏から秋田材の情報発信を図るとともに、世界に向けた新たな市場開拓に取り組んでいきたい」とあいさつした。

で、特に秋田杉は日本三大美林の一つとして広く知られている。また、秋田杉は森林面積も資源蓄積も全国1位だ。同県は製材や合板、集成材工場が立地する全国的にも希な木材産業の集積地で、同時に木工品、家具、建具など伝統技術や高度な加工技術を駆使した製品も数多く、幅広いユーザーや市場から高い評価を得ている。

基調講演では「木材高度加工研究所の取り組みと木の国秋田の潜在力について」をテーマに林知行秋田県立大学木材高度加工研究所所長が、同県の森林資源と技術力について話した。

また、新商品の披露が行われ、大栄木工の日本初の2時間防火戸や山二建設資材の波形手すり「クネット」、丸松銘木店のツキ板を編み込んだ化粧板「アルマジロ」や大館北秋田森林組合の秋田杉を

は県土の7割が森林

プレゼンテーションでは佐竹知事が同県の魅力を紹介した。秋田

使った太陽光パネル用
架台が紹介された。

当社の取扱い商品の

「もみからエコボード」と「アミパネル」
が 出展され好評でした。

株式会社コバリン
総務部